高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　保健体育　　科目 保健

教　科： 保健体育　　科　目： 保健　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 大修館 ）

教科 保健体育　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】現代社会の健康を個人だけではなく社会全体で総合的に理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】健康に関わる事象や課題を発見してより良い解決方法を選択させる

【学びに向かう力、人間性等】健康や環境づくりに関心を持たせて現在、将来の生活を明るく豊かにする。

科目 保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保健の知識及び技能に関する資質・能力の育成について現代社会と健康，安全な社会生活，生涯を通じる健康，健康を支える環境づくりとその活用について，個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにする。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択させることを目標とする。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけではなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって現在および将来の生活を健康で明るく豊かにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元日本における健康課題の変遷 【知識及び技能】健康指標や疾病構造の変化から，日本の健康課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】健康水準の向上，疾病構造の変化に伴い，個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて，理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材　教科書 ・端末の活用　等	【知識・技能】 免疫，遺伝，生活行動などの主体要因と，自然，経済，文化，保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解できている。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	B 単元 現代における感染症の問題 【知識及び技能】 感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること，その際，交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること，また，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症，結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症とその予防について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。	・指導事項 ・教材　教科書 ・端末の活用　等	【知識・技能】 感染症のリスクを軽減し予防するには，衛生的な環境の整備や検疫，正しい情報の発信，予防接種の普及など社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であること，エイズ及び性感染症についても，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，理解できている。 【思考・判断・表現】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて，事例を通して整理し，感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症とその予防について，課題の解決に向けた学習に自主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2学	C 単元　生活習慣病の予防と回復 【知識及び技能】 生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 がん，脳血管疾患，虚血性心疾患，高血圧症，脂質異常症，糖尿病などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて，理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。	・指導事項 ・教材　教科書 ・端末の活用　等	【知識・技能】 がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて，理解する。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7

期	D 単元　喫煙、飲酒、薬物と健康 【知識及び技能】 喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙，飲酒，薬物乱用について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材　教科書 ・端末の活用　等	【知識・技能】 喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解できている。 【思考・判断・表現】 がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○		○	9
	定期考査			○	○	○	1
3学期	E　単元　精神疾患の特徴や対応 【知識及び技能】 代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防とその回復について，課題の解決に向けた学習に自主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材　教科書 ・端末の活用　等	【知識・技能】 精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることについて，理解できている。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について，習得した知識を基に，心身の健康を保ち，不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の予防とその回復について，課題の解決に向けた学習に自主体的に取り組もうとしている。	○	○		4
	F　単元　応急手当の意義と救急医療体制 【知識及び技能】 応急手当の意義と，その手順や方法を身につける必要性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グループごとに応急手当をお互いに実践して評価し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当の手順や方法を理解して生命を尊重する態度を養う。	・指導事項 ・教材　教科書 ・端末の活用　等	【知識・技能】 自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解できている。 【思考・判断・表現】 応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
							合計 35